

陽南地区 宮本二自治会

「夏祭りやハイキング等を通じたふれあいの機会創出」

●加入世帯数：110世帯

●加入率：91.7%

活動内容

宮本二自治会は、戦後の昭和21年の横川村大字江曾島字嘶3地区が発祥で、昭和24年宇都宮市に合併し宇都宮市宮本町となった経緯があります。

現在は110世帯300名弱の自治会です。町内は富士重工の社宅から始まり、戦前からこの地で暮らしていた人たちが世代交代し現在も住んでいるため、昔なじみが多く自治会加入率も高く住みやすい地域です。

以前は、夏祭り等も大人神輿・子ども神輿・山車と盛んでしたが、高齢化に伴い、十数年前から中止のやむなきに至りましたが、一昨年より神輿のみを展示し復活し、自治会員のふれあいの場となっております。

自治会活動の中でも、新年会（参加30数名）、花見会（20～30名）、夏祭り（40～50名）、ハイキング（20～30名）等町内での行事を通じ、ふれあいの場をできるだけ多く設け、その都度、ごみ減量化について伝え、資源ごみについては回収をすることにより、宇都宮市よりの補助金も増え、町内の活動の一部となっていることを説明し、「資源ごみの回収」に取り組んでおります。

これからも、会員の皆様には積極的に説明し、「資源ごみの回収」に努めてまいりたいと思います。

加入率を維持する秘訣

地域のふれあいを大切に、町内の各種行事等に参加する方には、隣近所へお誘いの声掛け等を行ってもらい、参加者を増やす努力をしています。

